倉吉市打吹玉川（鳥取県）

令和4年5月9日
倉吉市作成

（1）保存地区の概要

地区名	倉吉市打吹玉川
種別	商家町
面積	約9．2ヘクタール
選定年月日	平成10年12月25日（範囲拡大：平成22年12月24日）
特徴	鳥取県の中央にある倉吉は、江戸時代から明治・大正時代にかけて、商工業都市として繁栄した。保存地区は豊かな意匠を持つ町家が建ち並ぶ本町通りと、土蔵群と石橋が連続する玉川沿いからなる。赤褐色の石州瓦の屋根、軒まわりの海老状に曲がった腕木や持送り板、腰格子や繊細な出格子等の意匠に地域的特色があらわれている。

（2）保存地区のあゆみ

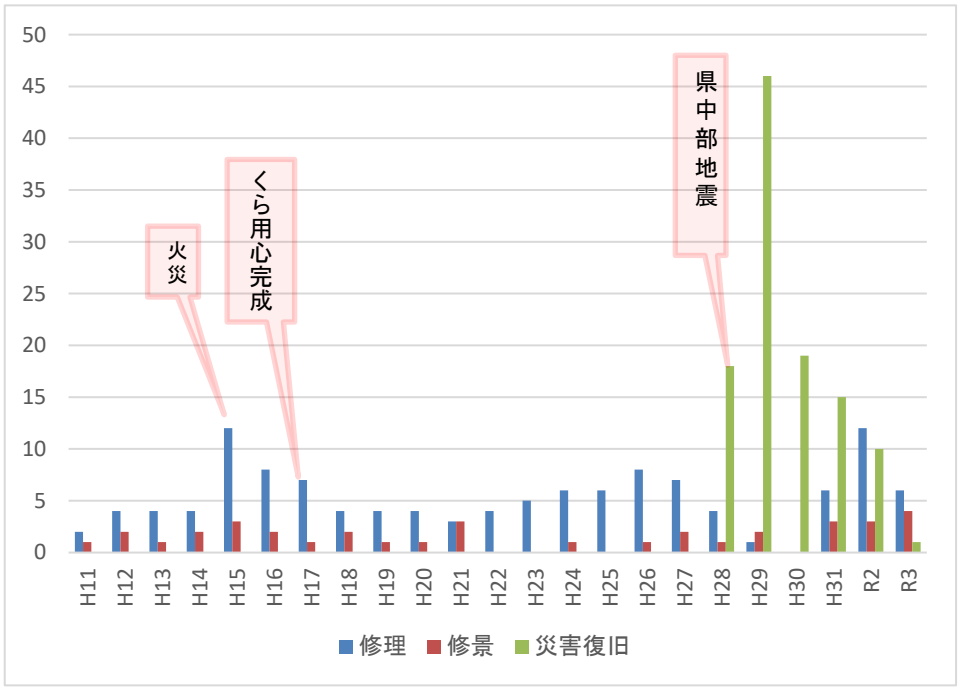
昭和54年度（1979）	倉吉商家町並保存対策調査
昭和59年度（1984）	倉吉古い町並保存会設立
（～62年度）	玉川沿いの土蔵の修復（22棟）
平成 8年度（1996）	倉吉市伝統的建造物群保存地区条例制定
平成10年度（1998）	重要伝統的建造物群保存地区選定
平成11年度（1999）	保存修理・修景事業スタート
平成14年度（2002）	防災計画策定書刊行
平成15年度（2003）	東仲町で火災、14棟全半焼
	倉吉町並み保存会設立
平成18年度（2006）	防災センター「くら用心」整備完成
平成19年度（2007）	町並み保存対策見直し調査
（～21年度）	見直し調査報告書刊行
平成21年度（2009）	全国伝統的建造物群保存地区協議会総会
平成22年度（2010）	重要伝統的建造物群保存地区（範囲拡大）
平成23年度（2011）	天皇皇后両陛下行幸（全国豊かな海づくり大会）
平成25年度（2013）	防災計画策定報告書刊行
平成28年度（2016）	保存対策計画書刊行
	鳥取県中部地震、特定物件の約3分の2被災
	災害復旧事業18件（29棟）開始
平成29年度（2017）	災害復旧事業46件（81棟）実施
平成30年度（2018）	災害復旧事業19件（37棟）実施
平成31年度（2019）	災害復旧事業15件（25棟）実施
令和2年度（2020）	災害復旧事業10件（12棟）実施
令和3年度（2021）	災害復旧事業1件（1棟）完了
	保存活用計画（保存計画の改正）

（3）保存地区の保存と整備

・選定後23年間の伝統的建造物の保存修理の実績
・火災および地震により被災した伝統的建造物の復旧事業
・防災センター「くら用心」の整備
・伝建事業の補完として、街なみ環境整備事業により修景
・設計士、施工業者対象の伝建勉強会の開催

災害復旧事業・修理事業

修景事業



案内板設置状況

防災センターくら用心（教育・防災施設）

（4）保存地区の活用とまちづくり

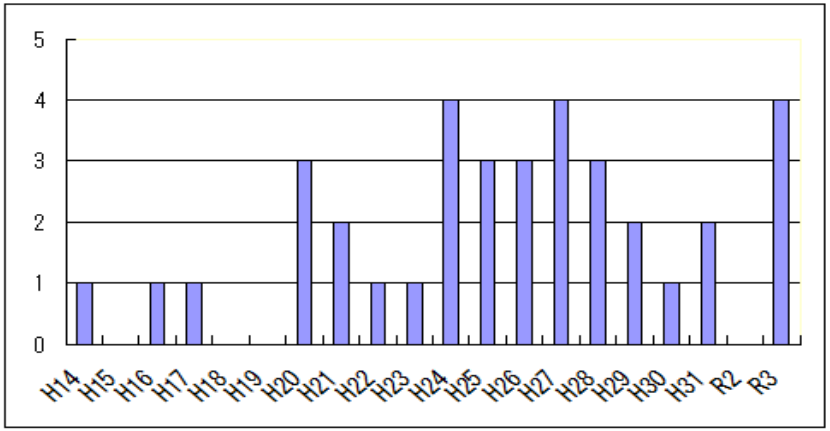
・空き家を活用した店舗の増加
　にぎわいのある商店街づくり事業による新規店舗の増加
　伝建補助金を活用して、修理した空き家に店舗を構え移住・定住した例もある。また、空き家を宿泊施設として活用する事例もある。

（ビール工房）

（ゲストハウス）

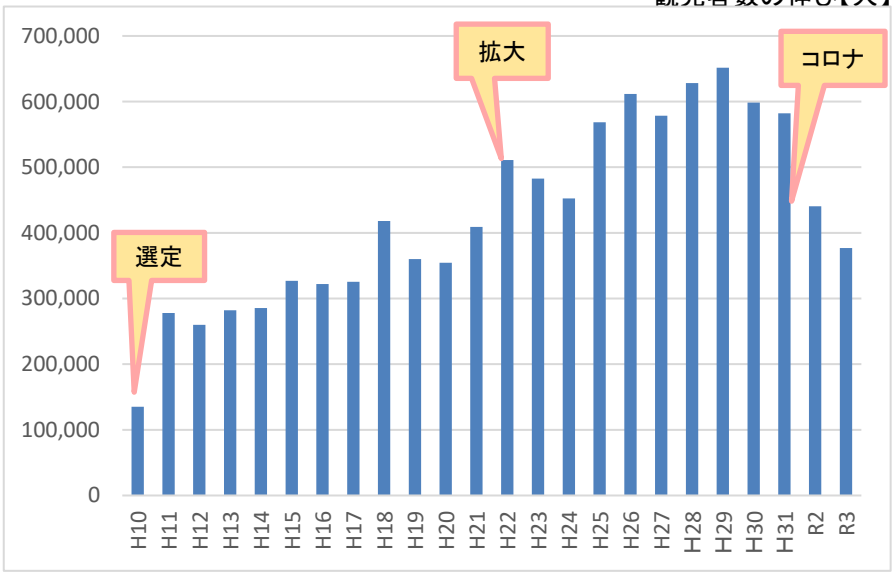
（チャレンジショップ）

空き家を活用した新規店舗の増加
（にぎわいのある商店街づくり事業）



・イベント等伝建地区のにぎわい創出による観光客の増加

観光客数の伸び【人】



伝建地区がモデルのゲーム（ひなビタ♪）による賑わい創出

倉吉市打吹玉川（鳥取県）

令和4年5月9日
倉吉市作成

（5）住民等の取組

・伝建修理報告会
・防災マップ
・流しびな、里見行列
・地元小・中学生による玉川清掃
・成徳小学校総合学習など

防災マップ

流しびな（4月）

里見行列（9月）

長谷の観音市（2月）

成徳小学校の3年生は総合学習で伝建地区について学習します。

伝建修理報告会

成徳小学校、東中学校による玉川清掃活動